

カリキュラム・マップ2024【経済学部・経済学科】

DP1	学問における学びを通じて、教養を高め、自らの人間形成の基礎を培い、倫理観・責任感を身につけ、常に社会の状況と課題・ニーズに関心を持ち、人類文化の発展に貢献しようとする心構えを有している。
DP2	大学での学びを通して、自己と他者とを尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、他者と力を合わせて何かを作り上げていくことを意味する“協創”によって、社会に存在する様々な問題の解決を目指す志を有している。また、グローバルコミュニケーションにおいて求められる基礎的な英語力を有している。
DP3	経済学に関する基礎ならびに経済学部経済学科でコースとして設定している「アジア・国際経済」「企業・産業経済」「金融・証券経済」「地域・環境経済」「データサイエンス」のいずれかの分野における応用力を身につけ、併せて教養を高めることを通じて、自らの人間形成の基礎を培い、将来にわたり自らを成長させようとする心構えを有している。

科目分野	主要授業科目	科目名	必修 選択必修 選択	配当 学年	DP達成度の確認にどのように関係するのかを以下記号で示す。 ◎:達成度の判定に直接的に利用する科目(総括的評価) ○:達成度の向上に貢献する科目(形成的評価) △:達成度の確認に利用はしないが、関係性はある科目		
					DP1	DP2	DP3
全学共通基盤科目	●	協創力体験演習 I	必修	1	○	◎	
全学共通基盤科目	●	協創力体験演習 II	必修	1	○	◎	
全学共通基盤科目	●	協創力実践演習	必修	1	○	◎	
基本科目	●	コミュニケーションのための基礎英語A	必修	1	○	◎	
基本科目	●	コミュニケーションのための基礎英語B	必修	1	○	◎	
基本科目	●	フレッシュマンセミナーA	必修	1	○	◎	
基本科目	●	フレッシュマンセミナーB	必修	1	○	◎	
基本科目	●	ソフォモアセミナーA	必修	2	○	◎	
基本科目	●	ソフォモアセミナーB	必修	2	○	◎	
基本科目	●	ゼミナール I A	必修	3	○	○	◎
基本科目	●	ゼミナール I B	必修	3	○	○	◎
基本科目	●	ゼミナール II A	必修	4	○	○	◎
基本科目	●	ゼミナール II B	必修	4	○	○	◎
基本科目	●	日本語 I A	必修 留学生対象科目	1	○	◎	
基本科目	●	日本語 I B	必修 留学生対象科目	1	○	◎	
専門科目		経済の基礎数学 I	選択	1	△		◎
専門科目		経済史概論 I	選択	1	△		◎
専門科目		経済史概論 II	選択	1	△		◎
専門科目		技術と社会 I	選択	1	◎	○	△
専門科目		技術と社会 II	選択	1	◎	○	△
専門科目		経済学演習初級 I	選択	1	○		◎
専門科目		経済学演習初級 II	選択	1	○		◎
専門科目		日本の産業 I	選択	1		△	◎
専門科目		日本の産業 II	選択	1		△	◎
専門科目		地域と産業 I	選択	1	△		◎
専門科目		地域と産業 II	選択	1	△		◎
専門科目		金融入門 I	選択	1	△		◎
専門科目		金融入門 II	選択	1	△		◎
専門科目		経済学特論A	選択	1	△		◎
専門科目		経済学特論B	選択	1	△		◎
専門科目		経済学特論C	選択	1	△		◎
専門科目		経済学特論D	選択	1	△		◎
専門科目		経済学のための統計入門 I	選択	1	△		◎
専門科目		スタートアップ企業論入門	選択	1	△		◎
専門科目		経済思想史 I	選択	2			○
専門科目		経済思想史 II	選択	2			○
専門科目		日本経済史 I	選択	2	△		◎
専門科目		日本経済史 II	選択	2	△		◎
専門科目		経済英書研究 I A	選択	2		◎	○

カリキュラム・マップ2024【経済学部・経済学科】

DP1	学問における学びを通じて、教養を高め、自らの人間形成の基礎を培い、倫理観・責任感を身につけ、常に社会の状況と課題・ニーズに関心を持ち、人類文化の発展に貢献しようとする心構えを有している。
DP2	大学での学びを通して、自己と他者とを尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、他者と力を合わせて何かを作り上げていくことを意味する“協創”によって、社会に存在する様々な問題の解決を目指す志を有している。また、グローバルコミュニケーションにおいて求められる基礎的な英語力を有している。
DP3	経済学に関する基礎ならびに経済学部経済学科でコースとして設定している「アジア・国際経済」「企業・産業経済」「金融・証券経済」「地域・環境経済」「データサイエンス」のいずれかの分野における応用力を身につけ、併せて教養を高めることを通じて、自らの人間形成の基礎を培い、将来にわたり自らを成長させようとする心構えを有している。

科目分野	主要授業科目	科目名	必修 選択必修 選択	配当 学年	DP達成度の確認にどのように関係するのかを以下記号で示す。 ◎:達成度の判定に直接的に利用する科目(総括的評価) ○:達成度の向上に貢献する科目(形成的評価) △:達成度の確認に利用はしないが、関係性はある科目		
					DP1	DP2	DP3
専門科目		経済英書研究ⅠB	選択	2		◎	○
専門科目		現代企業論Ⅰ	選択	2	○		◎
専門科目		現代企業論Ⅱ	選択	2	○		◎
専門科目		経済学演習中級Ⅰ	選択	2	○		◎
専門科目		経済学演習中級Ⅱ	選択	2	○		◎
専門科目		西洋経済史Ⅰ	選択	2	△		◎
専門科目		西洋経済史Ⅱ	選択	2	△		◎
専門科目		実践スタートアップ企業論Ⅰ	選択	2	△		◎
専門科目		実践スタートアップ企業論Ⅱ	選択	2	△		◎
専門科目		現代経済論Ⅰ	選択	3	△		◎
専門科目		現代経済論Ⅱ	選択	3	△		◎
専門科目		中小企業論Ⅱ	選択	3	△		◎
専門科目		経済哲学Ⅰ	選択	3			◎
専門科目		経済哲学Ⅱ	選択	3			◎
専門科目		経済学史Ⅰ	選択	3	△		◎
専門科目		経済学史Ⅱ	選択	3	△		◎
専門科目		福祉経済論Ⅰ	選択	3	△		◎
専門科目		福祉経済論Ⅱ	選択	3	△		◎
専門科目		地域研究Ⅲ	選択	3	△	○	◎
専門科目		地域研究Ⅳ	選択	3	△	○	◎
専門科目		産業技術論Ⅰ	選択	3	△		◎
専門科目		産業技術論Ⅱ	選択	3	△		◎
専門科目		交通経済論Ⅰ	選択	3	○	○	◎
専門科目		交通経済論Ⅱ	選択	3	○	○	◎
専門科目		経済英書研究ⅡA	選択	3		◎	○
専門科目		経済英書研究ⅡB	選択	3		◎	○
専門科目		農業経済論Ⅰ	選択	3	○	△	◎
専門科目		農業経済論Ⅱ	選択	3	○	△	◎
専門科目		経済学演習上級Ⅰ	選択	3	○		◎
専門科目		経済学演習上級Ⅱ	選択	3	○		◎
専門科目		ヨーロッパ経済論Ⅰ	選択	3	△		◎
専門科目		ヨーロッパ経済論Ⅱ	選択	3	△		◎
専門科目		経済の基礎数学Ⅱ	選択必修	1	△		◎
専門科目		経済学の考え方	選択必修	1	△		◎
専門科目		マクロ経済学入門	選択必修	1			◎
専門科目		ミクロ経済学入門	選択必修	1			◎
専門科目		経済事情A	選択必修	1	△		◎
専門科目		経済事情B	選択必修	1	△		◎
専門科目		経済学のための統計入門Ⅱ	選択必修	1	△		◎

カリキュラム・マップ2024【経済学部・経済学科】

DP1	学問における学びを通じて、教養を高め、自らの人間形成の基礎を培い、倫理観・責任感を身につけ、常に社会の状況と課題・ニーズに関心を持ち、人類文化の発展に貢献しようとする心構えを有している。
DP2	大学での学びを通して、自己と他者とを尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、他者と力を合わせて何かを作り上げていくことを意味する“協創”によって、社会に存在する様々な問題の解決を目指す志を有している。また、グローバルコミュニケーションにおいて求められる基礎的な英語力を有している。
DP3	経済学に関する基礎ならびに経済学部経済学科でコースとして設定している「アジア・国際経済」「企業・産業経済」「金融・証券経済」「地域・環境経済」「データサイエンス」のいずれかの分野における応用力を身につけ、併せて教養を高めることを通じて、自らの人間形成の基礎を培い、将来にわたり自らを成長させようとする心構えを有している。

科目分野	主要授業科目	科目名	必修 選択必修 選択	配当 学年	DP達成度の確認にどのように関係するのかを以下記号で示す。 ◎:達成度の判定に直接的に利用する科目(総括的評価) ○:達成度の向上に貢献する科目(形成的評価) △:達成度の確認に利用はしないが、関係性はある科目		
					DP1	DP2	DP3
専門科目		AIと経済	選択必修	1	△		◎
専門科目		金融機関論	選択必修	2	△		◎
専門科目		特殊講義Ⅰ	選択必修	2	△		◎
専門科目		特殊講義Ⅱ	選択必修	2	○	○	◎
専門科目		特殊講義Ⅲ	選択必修	2		△	◎
専門科目		サービス経済論Ⅰ	選択必修	2	△		◎
専門科目		サービス経済論Ⅱ	選択必修	2	△		◎
専門科目		マクロ経済学Ⅰ	選択必修	2			◎
専門科目		マクロ経済学Ⅱ	選択必修	2			◎
専門科目		ミクロ経済学Ⅰ	選択必修	2	○		◎
専門科目		ミクロ経済学Ⅱ	選択必修	2	○		◎
専門科目		経済統計学Ⅰ	選択必修	2	△		◎
専門科目		経済統計学Ⅱ	選択必修	2	△		◎
専門科目		人口論Ⅰ	選択必修	2		△	◎
専門科目		人口論Ⅱ	選択必修	2		△	◎
専門科目		経済政策Ⅰ	選択必修	2	△		◎
専門科目		経済政策Ⅱ	選択必修	2	△		◎
専門科目		開発経済学Ⅰ	選択必修	2	○	○	◎
専門科目		開発経済学Ⅱ	選択必修	2	○	○	◎
専門科目		日本経済論Ⅰ	選択必修	2	△		◎
専門科目		日本経済論Ⅱ	選択必修	2	△		◎
専門科目		金融論Ⅰ	選択必修	2	△		◎
専門科目		金融論Ⅱ	選択必修	2	△		◎
専門科目		財政学Ⅰ	選択必修	2	△		◎
専門科目		財政学Ⅱ	選択必修	2	△		◎
専門科目		産業経済論Ⅰ	選択必修	2	△		◎
専門科目		産業経済論Ⅱ	選択必修	2	△		◎
専門科目		国際経済論Ⅰ	選択必修	2	○	○	◎
専門科目		国際経済論Ⅱ	選択必修	2	○	○	◎
専門科目		特殊講義Ⅳ	選択必修	2	△		◎
専門科目		データサイエンスの基礎	選択必修	2	○	○	◎
専門科目		AIプログラミングの基礎	選択必修	2	△		◎
専門科目		流通経済論Ⅰ	選択必修	3	○		◎
専門科目		流通経済論Ⅱ	選択必修	3	○		◎
専門科目		中小企業論Ⅰ	選択必修	3	△		◎
専門科目		保険論Ⅰ	選択必修	3	△		◎
専門科目		保険論Ⅱ	選択必修	3	△		◎
専門科目		計量経済学Ⅰ	選択必修	3	△		◎
専門科目		計量経済学Ⅱ	選択必修	3	△		◎

カリキュラム・マップ2024【経済学部・経済学科】

DP1	学問における学びを通じて、教養を高め、自らの人間形成の基礎を培い、倫理観・責任感を身につけ、常に社会の状況と課題・ニーズに関心を持ち、人類文化の発展に貢献しようとする心構えを有している。
DP2	大学での学びを通して、自己と他者とを尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、他者と力を合わせて何かを作り上げていくことを意味する“協創”によって、社会に存在する様々な問題の解決を目指す志を有している。また、グローバルコミュニケーションにおいて求められる基礎的な英語力を有している。
DP3	経済学に関する基礎ならびに経済学部経済学科でコースとして設定している「アジア・国際経済」「企業・産業経済」「金融・証券経済」「地域・環境経済」「データサイエンス」のいずれかの分野における応用力を身につけ、併せて教養を高めることを通じて、自らの人間形成の基礎を培い、将来にわたり自らを成長させようとする心構えを有している。

科目分野	主要授業科目	科目名	必修 選択必修 選択	配当 学年	DP達成度の確認にどのように関係するのかを以下記号で示す。 ◎:達成度の判定に直接的に利用する科目(総括的評価) ○:達成度の向上に貢献する科目(形成的評価) △:達成度の確認に利用はしないが、関係性はある科目		
					DP1	DP2	DP3
専門科目		環境経済論Ⅰ	選択必修	3	△		◎
専門科目		環境経済論Ⅱ	選択必修	3	△		◎
専門科目		多国籍企業論Ⅰ	選択必修	3	△		◎
専門科目		多国籍企業論Ⅱ	選択必修	3	△		◎
専門科目		アメリカ経済論Ⅰ	選択必修	3	○	○	◎
専門科目		アメリカ経済論Ⅱ	選択必修	3	○	○	◎
専門科目		地域研究Ⅰ	選択必修	3	△	○	◎
専門科目		地域研究Ⅱ	選択必修	3	△	○	◎
専門科目		経済地理学Ⅰ	選択必修	3	△		◎
専門科目		経済地理学Ⅱ	選択必修	3	△		◎
専門科目		公共経済学Ⅰ	選択必修	3	○	△	◎
専門科目		公共経済学Ⅱ	選択必修	3	○	△	◎
専門科目		証券経済論Ⅰ	選択必修	3	△		◎
専門科目		証券経済論Ⅱ	選択必修	3	△		◎
専門科目		都市経済論Ⅰ	選択必修	3	○	△	◎
専門科目		都市経済論Ⅱ	選択必修	3	○	△	◎
専門科目		国際金融論Ⅰ	選択必修	3	△		◎
専門科目		国際金融論Ⅱ	選択必修	3	△		◎
専門科目		地方財政Ⅰ	選択必修	3	△		◎
専門科目		地方財政Ⅱ	選択必修	3	△		◎
専門科目		アジア経済論Ⅰ	選択必修	3	○	○	◎
専門科目		アジア経済論Ⅱ	選択必修	3	○	○	◎
専門科目		産業組織論Ⅰ	選択必修	3	○		◎
専門科目		産業組織論Ⅱ	選択必修	3	○		◎
専門科目		労働経済論Ⅰ	選択必修	3	○		◎
専門科目		労働経済論Ⅱ	選択必修	3	○		◎
専門科目		社会科学におけるデータサイエンス	選択必修	3	△		◎
専門科目		金融データ分析	選択必修	3	△		◎
専門科目		定量的政策評価	選択必修	3	○	○	◎
専門科目		応用AIプログラミング	選択必修	3	△		◎
専門科目		ゲーム理論とAI	選択必修	3	○		◎
関連科目		ドイツ語ⅠA	選択	1	○	◎	
関連科目		ドイツ語ⅠB	選択	1	○	◎	
関連科目		フランス語ⅠA	選択	1	○	◎	
関連科目		フランス語ⅠB	選択	1	○	◎	
関連科目		中国語ⅠA	選択	1	○	◎	
関連科目		中国語ⅠB	選択	1	○	◎	
関連科目		韓国語ⅠA	選択	1	○	◎	
関連科目		韓国語ⅠB	選択	1	○	◎	

カリキュラム・マップ2024【経済学部・経済学科】

DP1	学問における学びを通じて、教養を高め、自らの人間形成の基礎を培い、倫理観・責任感を身につけ、常に社会の状況と課題・ニーズに関心を持ち、人類文化の発展に貢献しようとする心構えを有している。
DP2	大学での学びを通して、自己と他者とを尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、他者と力を合わせて何かを作り上げていくことを意味する“協創”によって、社会に存在する様々な問題の解決を目指す志を有している。また、グローバルコミュニケーションにおいて求められる基礎的な英語力を有している。
DP3	経済学に関する基礎ならびに経済学部経済学科でコースとして設定している「アジア・国際経済」「企業・産業経済」「金融・証券経済」「地域・環境経済」「データサイエンス」のいずれかの分野における応用力を身につけ、併せて教養を高めることを通じて、自らの人間形成の基礎を培い、将来にわたり自らを成長させようとする心構えを有している。

科目分野	主要授業科目	科目名	必修 選択必修 選択	配当 学年	DP達成度の確認にどのように関係するのかを以下記号で示す。 ◎:達成度の判定に直接的に利用する科目(総括的評価) ○:達成度の向上に貢献する科目(形成的評価) △:達成度の確認に利用はしないが、関係性はある科目		
					DP1	DP2	DP3
関連科目		古典と思想	選択	1	◎		
関連科目		思想と人間	選択	1	◎		
関連科目		倫理とは何か	選択	1	◎		
関連科目		倫理と社会	選択	1	◎		
関連科目		論理と真理	選択	1	◎		
関連科目		合理的思考	選択	1	◎		
関連科目		地域と風土	選択	1	○		○
関連科目		地域と生産	選択	1	○		○
関連科目		現代社会と法Ⅰ(日本国憲法)	選択	1	◎		
関連科目		現代社会と法Ⅱ(国際法を含む)	選択	1	◎		
関連科目		社会学A	選択	1	○		
関連科目		社会学B	選択	1	○		
関連科目		統計Ⅰ	選択	1	○		◎
関連科目		統計Ⅱ	選択	1	○		◎
関連科目		地球資源の地学	選択	1	◎		
関連科目		自然災害の地学	選択	1	◎		
関連科目		コンピュータ・リテラシーⅠ	選択	1	◎		
関連科目		コンピュータ・リテラシーⅡ	選択	1	◎		
関連科目		経営学Ⅰ	選択	1	○		
関連科目		経営学Ⅱ	選択	1	○		
関連科目		中級簿記Ⅰ	選択	1	○		
関連科目		中級簿記Ⅱ	選択	1	○		
関連科目		工業簿記Ⅰ	選択	1	◎		
関連科目		工業簿記Ⅱ	選択	1	◎		
関連科目		会計入門Ⅰ	選択	1	◎	○	△
関連科目		会計入門Ⅱ	選択	1	◎	○	△
関連科目		情報技術Ⅰ	選択	1	◎		
関連科目		情報技術Ⅱ	選択	1	◎		
関連科目		マーケティング論Ⅰ	選択	1	○		
関連科目		マーケティング論Ⅱ	選択	1	○		
関連科目		国際グローバル研修	選択	1	○	◎	
関連科目		基礎リテラシーⅠA	選択	1	◎	○	
関連科目		基礎リテラシーⅠB	選択	1	○		
関連科目		法学概論Ⅰ	選択	1	◎	△	
関連科目		法学概論Ⅱ	選択	1	◎	△	
関連科目		世界の中の日本A	選択	1	◎		
関連科目		世界の中の日本B	選択	1	◎		
関連科目		文化人類学Ⅰ	選択	1	○		
関連科目		文化人類学Ⅱ	選択	1	○		

カリキュラム・マップ2024【経済学部・経済学科】

DP1	学問における学びを通じて、教養を高め、自らの人間形成の基礎を培い、倫理観・責任感を身につけ、常に社会の状況と課題・ニーズに関心を持ち、人類文化の発展に貢献しようとする心構えを有している。
DP2	大学での学びを通して、自己と他者とを尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、他者と力を合わせて何かを作り上げていくことを意味する“協創”によって、社会に存在する様々な問題の解決を目指す志を有している。また、グローバルコミュニケーションにおいて求められる基礎的な英語力を有している。
DP3	経済学に関する基礎ならびに経済学部経済学科でコースとして設定している「アジア・国際経済」「企業・産業経済」「金融・証券経済」「地域・環境経済」「データサイエンス」のいずれかの分野における応用力を身につけ、併せて教養を高めることを通じて、自らの人間形成の基礎を培い、将来にわたり自らを成長させようとする心構えを有している。

科目分野	主要授業科目	科目名	必修 選択必修 選択	配当 学年	DP達成度の確認にどのように関係するのかを以下記号で示す。 ◎:達成度の判定に直接的に利用する科目(総括的評価) ○:達成度の向上に貢献する科目(形成的評価) △:達成度の確認に利用はしないが、関係性はある科目		
					DP1	DP2	DP3
関連科目		教養演習初級Ⅰ	選択	1	○		
関連科目		教養演習初級Ⅱ	選択	1	○		
関連科目		法学演習初級Ⅰ	選択	1	◎		
関連科目		法学演習初級Ⅱ	選択	1	◎		
関連科目		地域と大学	選択	1	◎		
関連科目		グローバル社会と女性	選択	1	◎		
関連科目		女性とダイバーシティ(女性の働き方)	選択	1	◎	○	
関連科目		女性とキャリアデザイン(女性と企業)	選択	1	◎		
関連科目		Oral EnglishⅠA	選択	1	○	◎	
関連科目		Oral EnglishⅠB	選択	1	○	◎	
関連科目		近世の日本史Ⅰ	選択	1	○	◎	○
関連科目		近世の日本史Ⅱ	選択	1	○	◎	○
関連科目		日本の文学Ⅰ	選択	1	◎	○	
関連科目		日本の文学Ⅱ	選択	1	◎	○	
関連科目		心理学Ⅰ	選択	1	◎		
関連科目		心理学Ⅱ	選択	1	◎		
関連科目		English CommunicationⅠA	選択	1	○	◎	
関連科目		English CommunicationⅠB	選択	1	○	◎	
関連科目		国際ボランティア論	選択	1	○	◎	○
関連科目		地域ボランティア論	選択	1	○	◎	
関連科目		社会教養基礎	選択	1	○		
関連科目		自校史研究(建学の精神と大学の理念)	選択	1	○		
関連科目		Public CommunicationⅠA	選択	1	○	◎	
関連科目		Public CommunicationⅠB	選択	1	○	◎	
関連科目		資格英語ⅠA	選択	1	○	◎	
関連科目		資格英語ⅠB	選択	1	○	◎	
関連科目		資格英語ⅡA	選択	1	○	◎	
関連科目		資格英語ⅡB	選択	1	○	◎	
関連科目		資格英語ⅢA	選択	1	○	◎	
関連科目		資格英語ⅢB	選択	1	○	◎	
関連科目		中国語集中トレーニングⅠA	選択	1	○	◎	
関連科目		中国語集中トレーニングⅠB	選択	1	○	◎	
関連科目		計算機入門Ⅰ(実習含む)	選択	1	○		
関連科目		文化研究Ⅰ	選択	1	◎	○	△
関連科目		文化研究Ⅱ	選択	1	◎	○	△
関連科目		公務キャリア特講Ⅰ	選択	1	◎	○	
関連科目		公務キャリア特講Ⅱ	選択	1	◎	○	
関連科目		データサイエンス入門	選択	1	○		◎
関連科目		留学英語A	選択	1	○	◎	

カリキュラム・マップ2024【経済学部・経済学科】

DP1	学問における学びを通じて、教養を高め、自らの人間形成の基礎を培い、倫理観・責任感を身につけ、常に社会の状況と課題・ニーズに関心を持ち、人類文化の発展に貢献しようとする心構えを有している。
DP2	大学での学びを通して、自己と他者とを尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、他者と力を合わせて何かを作り上げていくことを意味する“協創”によって、社会に存在する様々な問題の解決を目指す志を有している。また、グローバルコミュニケーションにおいて求められる基礎的な英語力を有している。
DP3	経済学に関する基礎ならびに経済学部経済学科でコースとして設定している「アジア・国際経済」「企業・産業経済」「金融・証券経済」「地域・環境経済」「データサイエンス」のいずれかの分野における応用力を身につけ、併せて教養を高めることを通じて、自らの人間形成の基礎を培い、将来にわたり自らを成長させようとする心構えを有している。

科目分野	主要授業科目	科目名	必修 選択必修 選択	配当 学年	DP達成度の確認にどのように関係するのかを以下記号で示す。 ◎:達成度の判定に直接的に利用する科目(総括的評価) ○:達成度の向上に貢献する科目(形成的評価) △:達成度の確認に利用はしないが、関係性はある科目		
					DP1	DP2	DP3
関連科目		留学英語B	選択	1	○	◎	
関連科目		教養英語A	選択	1	○	◎	
関連科目		教養英語B	選択	1	○	◎	
関連科目		英語集中トレーニングA	選択	1	○	◎	
関連科目		英語集中トレーニングB	選択	1	○	◎	
関連科目		スペイン語A	選択	1	○	◎	
関連科目		スペイン語B	選択	1	○	◎	
関連科目		ハンガリー語A	選択	1	○	◎	
関連科目		ハンガリー語B	選択	1	○	◎	
関連科目		ポーランド語A	選択	1	○	◎	
関連科目		ポーランド語B	選択	1	○	◎	
関連科目		チェコ語A	選択	1	○	◎	
関連科目		チェコ語B	選択	1	○	◎	
関連科目		マレー語A	選択	1	○	◎	
関連科目		マレー語B	選択	1	○	◎	
関連科目		海外研修 I	選択	1	○	◎	
関連科目		海外研修 II	選択	1	○	◎	
関連科目		海外研修 III	選択	1	○	◎	
関連科目		海外研修 IV	選択	1	○	◎	
関連科目		健康スポーツ I A	選択	1	○	◎	
関連科目		健康スポーツ I B	選択	1	○	◎	
関連科目		健康スポーツ II A	選択	1	○	◎	
関連科目		健康スポーツ II B	選択	1	○	◎	
関連科目		海外ビジネス研修 I A	選択	1	○	◎	△
関連科目		海外ビジネス研修 I B	選択	1	○	◎	△
関連科目		海外ビジネス研修 II A	選択	1	○	◎	△
関連科目		海外ビジネス研修 II B	選択	1	○	◎	△
関連科目		海外ビジネス研修 III A	選択	1	○	◎	△
関連科目		海外ビジネス研修 III B	選択	1	○	◎	△
関連科目		海外ビジネス研修 IV A	選択	1	○	◎	△
関連科目		海外ビジネス研修 IV B	選択	1	○	◎	△
関連科目		サービスマナー I A	選択	1	○	◎	
関連科目		サービスマナー I B	選択	1	○	◎	
関連科目		ドイツ語 II A	選択	2	○	◎	
関連科目		ドイツ語 II B	選択	2	○	◎	
関連科目		フランス語 II A	選択	2	○	◎	
関連科目		フランス語 II B	選択	2	○	◎	
関連科目		中国語 II A	選択	2	○	◎	
関連科目		中国語 II B	選択	2	○	◎	

カリキュラム・マップ2024【経済学部・経済学科】

DP1	学問における学びを通じて、教養を高め、自らの人間形成の基礎を培い、倫理観・責任感を身につけ、常に社会の状況と課題・ニーズに関心を持ち、人類文化の発展に貢献しようとする心構えを有している。
DP2	大学での学びを通して、自己と他者とを尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、他者と力を合わせて何かを作り上げていくことを意味する“協創”によって、社会に存在する様々な問題の解決を目指す志を有している。また、グローバルコミュニケーションにおいて求められる基礎的な英語力を有している。
DP3	経済学に関する基礎ならびに経済学部経済学科でコースとして設定している「アジア・国際経済」「企業・産業経済」「金融・証券経済」「地域・環境経済」「データサイエンス」のいずれかの分野における応用力を身につけ、併せて教養を高めることを通じて、自らの人間形成の基礎を培い、将来にわたり自らを成長させようとする心構えを有している。

科目分野	主要授業科目	科目名	必修 選択必修 選択	配当 学年	DP達成度の確認にどのように関係するのかを以下記号で示す。 ◎:達成度の判定に直接的に利用する科目(総括的評価) ○:達成度の向上に貢献する科目(形成的評価) △:達成度の確認に利用はしないが、関係性はある科目		
					DP1	DP2	DP3
関連科目		韓国語ⅡA	選択	2	○	◎	
関連科目		韓国語ⅡB	選択	2	○	◎	
関連科目		世界の文学A	選択	2	◎	○	
関連科目		世界の文学B	選択	2	◎	○	
関連科目		憲法Ⅰ	選択	2	○		
関連科目		行政法Ⅰ	選択	2	○		
関連科目		憲法Ⅱ	選択	2	○		
関連科目		行政法Ⅱ	選択	2	○		
関連科目		表計算ソフトによる数量分析	選択	2	○		◎
関連科目		ジェンダー文化論	選択	2	◎	○	
関連科目		情報技術Ⅲ	選択	2	◎	△	
関連科目		情報技術Ⅳ	選択	2	◎	△	
関連科目		経営組織論Ⅰ	選択	2	○		
関連科目		経営組織論Ⅱ	選択	2	○		
関連科目		経営史Ⅰ	選択	2	○		○
関連科目		経営史Ⅱ	選択	2	○		○
関連科目		会計学Ⅰ	選択	2	○		
関連科目		会計学Ⅱ	選択	2	○		
関連科目		財務諸表Ⅰ	選択	2	◎	○	△
関連科目		財務諸表Ⅱ	選択	2	◎	○	△
関連科目		経営管理論Ⅰ	選択	2	○		
関連科目		経営管理論Ⅱ	選択	2	○		
関連科目		法人税法Ⅰ	選択	2	○		
関連科目		法人税法Ⅱ	選択	2	○		
関連科目		産業心理学Ⅰ	選択	2	◎		
関連科目		産業心理学Ⅱ	選択	2	◎		
関連科目		経営戦略論Ⅰ	選択	2	○		
関連科目		経営戦略論Ⅱ	選択	2	○		
関連科目		IT論Ⅰ	選択	2	◎		△
関連科目		IT論Ⅱ	選択	2	◎		△
関連科目		キャリア開発とコミュニケーションⅠ	選択	2	○	◎	
関連科目		インターンシップⅠ	選択	2	○		
関連科目		インターンシップⅡ	選択	2	○		
関連科目		会社法Ⅰ	選択	2	○		○
関連科目		会社法Ⅱ	選択	2	○		○
関連科目		地理学(地誌を含む)Ⅰ	選択	2	○		
関連科目		地理学(地誌を含む)Ⅱ	選択	2	○		
関連科目		政治学概説Ⅰ	選択	2	◎		
関連科目		政治学概説Ⅱ	選択	2	◎		

カリキュラム・マップ2024【経済学部・経済学科】

DP1	学問における学びを通じて、教養を高め、自らの人間形成の基礎を培い、倫理観・責任感を身につけ、常に社会の状況と課題・ニーズに関心を持ち、人類文化の発展に貢献しようとする心構えを有している。
DP2	大学での学びを通して、自己と他者とを尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、他者と力を合わせて何かを作り上げていくことを意味する“協創”によって、社会に存在する様々な問題の解決を目指す志を有している。また、グローバルコミュニケーションにおいて求められる基礎的な英語力を有している。
DP3	経済学に関する基礎ならびに経済学部経済学科でコースとして設定している「アジア・国際経済」「企業・産業経済」「金融・証券経済」「地域・環境経済」「データサイエンス」のいずれかの分野における応用力を身につけ、併せて教養を高めることを通じて、自らの人間形成の基礎を培い、将来にわたり自らを成長させようとする心構えを有している。

科目分野	主要授業科目	科目名	必修 選択必修 選択	配当 学年	DP達成度の確認にどのように関係するのかを以下記号で示す。 ◎:達成度の判定に直接的に利用する科目(総括的評価) ○:達成度の向上に貢献する科目(形成的評価) △:達成度の確認に利用はしないが、関係性はある科目		
					DP1	DP2	DP3
関連科目		国際関係論Ⅰ	選択	2	◎		
関連科目		国際関係論Ⅱ	選択	2	◎		
関連科目		近世の都市史Ⅰ	選択	2	○	◎	○
関連科目		近世の都市史Ⅱ	選択	2	○	◎	○
関連科目		自然景観論Ⅰ	選択	2	◎		
関連科目		自然景観論Ⅱ	選択	2	◎		
関連科目		文化論Ⅰ	選択	2	○		
関連科目		文化論Ⅱ	選択	2	○		
関連科目		FP論入門	選択	2	○		
関連科目		FP論初級	選択	2	○		
関連科目		行政学Ⅰ	選択	2	○		
関連科目		行政学Ⅱ	選択	2	○		
関連科目		Oral EnglishⅡA	選択	2	○	◎	
関連科目		Oral EnglishⅡB	選択	2	○	◎	
関連科目		教養演習中級Ⅰ	選択	2	○		
関連科目		教養演習中級Ⅱ	選択	2	○		
関連科目		法学演習中級Ⅰ	選択	2	○		
関連科目		法学演習中級Ⅱ	選択	2	○		
関連科目		English CommunicationⅡA	選択	2	○	◎	
関連科目		English CommunicationⅡB	選択	2	○	◎	
関連科目		社会教養Ⅰ	選択	2	○		
関連科目		社会教養Ⅱ	選択	2	○		
関連科目		財産法Ⅰ	選択	2	○		
関連科目		財産法Ⅱ	選択	2	○		
関連科目		家族法Ⅰ	選択	2	○		
関連科目		家族法Ⅱ	選択	2	○		
関連科目		中国語集中トレーニングⅡA	選択	2	○	◎	
関連科目		中国語集中トレーニングⅡB	選択	2	○	◎	
関連科目		健康スポーツⅢA	選択	2	○	◎	
関連科目		健康スポーツⅢB	選択	2	○	◎	
関連科目		スポーツ・マネジメント概論	選択	2	○	◎	
関連科目		サービスマネジメントⅡA	選択	2	○	◎	
関連科目		サービスマネジメントⅡB	選択	2	○	◎	
関連科目		国際政治論	選択	3	◎		
関連科目		外国史概説	選択	3	○		
関連科目		東洋哲学概説	選択	3	◎		
関連科目		西洋哲学概説	選択	3	◎		
関連科目		所得税法Ⅰ	選択	3	○		

カリキュラム・マップ2024【経済学部・経済学科】

DP1	学問における学びを通じて、教養を高め、自らの人間形成の基礎を培い、倫理観・責任感を身につけ、常に社会の状況と課題・ニーズに関心を持ち、人類文化の発展に貢献しようとする心構えを有している。
DP2	大学での学びを通して、自己と他者とを尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、他者と力を合わせて何かを作り上げていくことを意味する“協創”によって、社会に存在する様々な問題の解決を目指す志を有している。また、グローバルコミュニケーションにおいて求められる基礎的な英語力を有している。
DP3	経済学に関する基礎ならびに経済学部経済学科でコースとして設定している「アジア・国際経済」「企業・産業経済」「金融・証券経済」「地域・環境経済」「データサイエンス」のいずれかの分野における応用力を身につけ、併せて教養を高めることを通じて、自らの人間形成の基礎を培い、将来にわたり自らを成長させようとする心構えを有している。

科目分野	主要授業科目	科目名	必修 選択必修 選択	配当 学年	DP達成度の確認にどのように関係するのかを以下記号で示す。 ◎:達成度の判定に直接的に利用する科目(総括的評価) ○:達成度の向上に貢献する科目(形成的評価) △:達成度の確認に利用はしないが、関係性はある科目		
					DP1	DP2	DP3
関連科目		所得税法Ⅱ	選択	3	○		
関連科目		経営財務論Ⅰ	選択	3	○		
関連科目		経営財務論Ⅱ	選択	3	○		
関連科目		産業社会学Ⅰ	選択	3	○		◎
関連科目		産業社会学Ⅱ	選択	3	○		◎
関連科目		日本の経営Ⅰ	選択	3	○		
関連科目		日本の経営Ⅱ	選択	3	○		
関連科目		原価計算Ⅰ	選択	3	○		○
関連科目		原価計算Ⅱ	選択	3	○		○
関連科目		税務会計Ⅰ	選択	3	○		○
関連科目		税務会計Ⅱ	選択	3	○		○
関連科目		管理会計Ⅰ	選択	3	○		○
関連科目		管理会計Ⅱ	選択	3	○		○
関連科目		消費税法	選択	3	○		
関連科目		相続税法	選択	3	○		
関連科目		人事労務論Ⅰ	選択	3	○		○
関連科目		人事労務論Ⅱ	選択	3	○		○
関連科目		IT論Ⅲ	選択	3	◎		
関連科目		IT論Ⅳ	選択	3	◎		
関連科目		キャリア開発とコミュニケーションⅡ	選択	3	○	◎	
関連科目		手形・小切手法Ⅰ	選択	3	○		○
関連科目		手形・小切手法Ⅱ	選択	3	○		○
関連科目		職業指導Ⅰ	選択	3	◎	○	
関連科目		職業指導Ⅱ	選択	3	◎	○	
関連科目		スポーツ・マネジメント論Ⅰ	選択	3	◎		
関連科目		スポーツ・マネジメント論Ⅱ	選択	3	◎		
関連科目		倫理学概説Ⅰ	選択	3	◎		
関連科目		倫理学概説Ⅱ	選択	3	◎		
関連科目		日本史概説Ⅰ	選択	3	○	○	◎
関連科目		日本史概説Ⅱ	選択	3	○	○	◎
関連科目		FP論中級	選択	3	○		
関連科目		FP論上級	選択	3	○		
関連科目		経済法Ⅰ	選択	3	○		○
関連科目		経済法Ⅱ	選択	3	○		○
関連科目		労働法Ⅰ	選択	3	○		
関連科目		労働法Ⅱ	選択	3	○		
関連科目		教養演習上級Ⅰ	選択	3	○		
関連科目		教養演習上級Ⅱ	選択	3	○		
関連科目		法学演習上級Ⅰ	選択	3	○		

カリキュラム・マップ2024【経済学部・経済学科】

DP1	学問における学びを通じて、教養を高め、自らの人間形成の基礎を培い、倫理観・責任感を身につけ、常に社会の状況と課題・ニーズに関心を持ち、人類文化の発展に貢献しようとする心構えを有している。
DP2	大学での学びを通して、自己と他者とを尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、他者と力を合わせて何かを作り上げていくことを意味する“協創”によって、社会に存在する様々な問題の解決を目指す志を有している。また、グローバルコミュニケーションにおいて求められる基礎的な英語力を有している。
DP3	経済学に関する基礎ならびに経済学部経済学科でコースとして設定している「アジア・国際経済」「企業・産業経済」「金融・証券経済」「地域・環境経済」「データサイエンス」のいずれかの分野における応用力を身につけ、併せて教養を高めることを通じて、自らの人間形成の基礎を培い、将来にわたり自らを成長させようとする心構えを有している。

科目分野	主要授業科目	科目名	必修 選択必修 選択	配当 学年	DP達成度の確認にどのように関係するのかを以下記号で示す。 ◎:達成度の判定に直接的に利用する科目(総括的評価) ○:達成度の向上に貢献する科目(形成的評価) △:達成度の確認に利用はしないが、関係性はある科目		
					DP1	DP2	DP3
関連科目		法学演習上級Ⅱ	選択	3	○		

カリキュラム・マップ2024【経済学部・経済学科】

DP1	学問における学びを通じて、教養を高め、自らの人間形成の基礎を培い、倫理観・責任感を身につけ、常に社会の状況と課題・ニーズに関心を持ち、人類文化の発展に貢献しようとする心構えを有している。
DP2	大学での学びを通して、自己と他者とを尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、他者と力を合わせて何かを作り上げていくことを意味する“協創”によって、社会に存在する様々な問題の解決を目指す志を有している。また、グローバルコミュニケーションにおいて求められる基礎的な英語力を有している。
DP3	経済学に関する基礎ならびに経済学部経済学科でコースとして設定している「アジア・国際経済」「企業・産業経済」「金融・証券経済」「地域・環境経済」「データサイエンス」のいずれかの分野における応用力を身につけ、併せて教養を高めることを通じて、自らの人間形成の基礎を培い、将来にわたり自らを成長させようとする心構えを有している。

科目分野	主要授業科目	科目名	必修 選択必修 選択	担当 学年	DP達成度の確認にどのように関係するのかを以下記号で示す。 ◎:達成度の判定に直接的に利用する科目(総括的評価) ○:達成度の向上に貢献する科目(形成的評価) △:達成度の確認に利用はしないが、関係性はある科目		
					DP1	DP2	DP3
関連科目		データサイエンスと数理統計	選択	3	○		◎
関連科目		機械学習とAI	選択	3	○		◎
関連科目		データサイエンス特別講義Ⅰ	選択	3	○		◎
関連科目		データサイエンス特別講義Ⅱ	選択	3	○		◎
関連科目		サービスマーケティングⅢA	選択	3	○	◎	
関連科目		サービスマーケティングⅢB	選択	3	○	◎	
関連科目		キャリア開発とコミュニケーションⅢ	選択	4	○	◎	
関連科目		日本語ⅠC	選択 留学生対象科目	1	○	◎	
関連科目		日本語ⅠD	選択 留学生対象科目	1	○	◎	
関連科目		日本事情Ⅰ	選択 留学生対象科目	1	○		
関連科目		日本事情Ⅱ	選択 留学生対象科目	1	○		
関連科目		日本語ⅡA	選択 留学生対象科目	2	○	◎	
関連科目		日本語ⅡB	選択 留学生対象科目	2	○	◎	
関連科目		日本語ⅡC	選択 留学生対象科目	2	○	◎	
関連科目		日本語ⅡD	選択 留学生対象科目	2	○	◎	
関連科目		日本語特殊演習ⅠA	選択 留学生対象科目	3	○	◎	
関連科目		日本語特殊演習ⅠB	選択 留学生対象科目	3	○	◎	
関連科目		日本語特殊演習ⅡA	選択 留学生対象科目	3	○	◎	
関連科目		日本語特殊演習ⅡB	選択 留学生対象科目	3	○	◎	
関連科目		日本語特殊演習ⅢA	選択 留学生対象科目	3	○	◎	
関連科目		日本語特殊演習ⅢB	選択 留学生対象科目	3	○	◎	
関連科目		日本語特殊演習ⅣA	選択 留学生対象科目	3	○	◎	
関連科目		日本語特殊演習ⅣB	選択 留学生対象科目	3	○	◎	
自由科目		社会科教育法A	自由A	3	◎	○	△
自由科目		社会科教育法B	自由A	3	◎	○	△
自由科目		公民科教育法A	自由A	3	○		
自由科目		公民科教育法B	自由A	3	○		
自由科目		教職論	自由B	1	○		
自由科目		教育学概論A	自由B	1	◎		
自由科目		生徒指導(進路指導の理論及び方法を含む)	自由B	2	◎		
自由科目		教育心理学	自由B	2	○		
自由科目		教育史	自由B	2	◎		
自由科目		学校と図書館	自由B	2	◎		
自由科目		ジェンダー・教育・ダイバーシティ	自由B	2	◎		
自由科目		特別支援教育	自由B	2	◎		
自由科目		道徳教育の理論と指導法	自由B	2	◎		
自由科目		教育学概論B	自由B	2	◎		
自由科目		スチューデント・インターンシップⅠ	自由B	2	◎		
自由科目		スチューデント・インターンシップⅡ	自由B	2	◎		

カリキュラム・マップ2024【経済学部・経済学科】

DP1	学問における学びを通じて、教養を高め、自らの人間形成の基礎を培い、倫理観・責任感を身につけ、常に社会の状況と課題・ニーズに関心を持ち、人類文化の発展に貢献しようとする心構えを有している。
DP2	大学での学びを通して、自己と他者とを尊重し、他者との対話を通して互いの理解を深め、他者と力を合わせて何かを作り上げていくことを意味する“協創”によって、社会に存在する様々な問題の解決を目指す志を有している。また、グローバルコミュニケーションにおいて求められる基礎的な英語力を有している。
DP3	経済学に関する基礎ならびに経済学部経済学科でコースとして設定している「アジア・国際経済」「企業・産業経済」「金融・証券経済」「地域・環境経済」「データサイエンス」のいずれかの分野における応用力を身につけ、併せて教養を高めることを通じて、自らの人間形成の基礎を培い、将来にわたり自らを成長させようとする心構えを有している。

科目分野	主要授業科目	科目名	必修 選択必修 選択	配当 学年	DP達成度の確認にどのように関係するかを以下記号で示す。 ◎:達成度の判定に直接的に利用する科目(総括的評価) ○:達成度の向上に貢献する科目(形成的評価) △:達成度の確認に利用はしないが、関係性はある科目		
					DP1	DP2	DP3
自由科目		教育方法及びICT指導法	自由B	2	◎		
自由科目		教育課程論(総合的な学習・探究の時間の指導法を含む)	自由B	2	◎		
自由科目		教育相談(カウンセリングを含む)	自由B	3	○		
自由科目		介護等体験実習(事前及び事後指導を含む)	自由B	3	◎		
自由科目		特別活動論	自由B	3	◎		
自由科目		教育実習Ⅰ(事前及び事後指導を含む)	自由B	4	○		
自由科目		教育実習Ⅱ	自由B	4	○		
自由科目		教職実践演習(中・高)	自由B	4	◎		